

商工会女性部はまちに
元気と安心をお届けしています。

はちみつ 通信

観光客目線と女性目線の

「まち歩きマップ」で

町内観光と地域活性化を促進

大石町商工会女性部(山形県)



大石町は人口6600人の小さな町です。大石町には山形新幹線が停車し、人気観光地である銀山温泉の玄関口になるため国内外から多くの観光客が降り立ちますが、目的地を往復するのみで町内を観光することなく去ってしまいます。

そこで私たちは、観光客目線の情報提供や、女性目線の地域の魅力を発信してまちの活性化につなげたいと、2018年に「まち歩きマップ」を作成

し、マップを活用した事業に取り組んでいます。

事業を始めるにあたり、全国連の講師派遣事業を活用し、「まちづくり」の勉強会を重ねました。掲載情報はすべて部員提供の情報や感想をもとに考案。部員一人ひとりがガイドになったつもりで語りかけるように表現しているため、マップを見た人が「共感」できる内容となっています。マップは、日本語・英語・中国語版の3種類。言



地域と連携して活動を展開



やまももを洗う女性部員



幻の果実、やまももの実

幻の果実を使った商品で
新しい市の魅力をPRする
「やまももプロジェクト」
那珂川市商工会女性部(福岡県)





3種類の「まち歩きマップ」

語ごとに色別になっているため、マップをもっている人がどの地域（国）から観光に来ているのか、バロメーターの役割も担っています。

さらに、マップ案内人として誕生したキャラクターを活用し、「まち歩きオリエンテーリング」の実施や、中国や台湾の観光客が多い春節には折鶴とメッセージを添えて駅で配布したり、マイバックの制作をしたりするなどの事業を展開しています。



マップ作成の校正作業の様子

那珂川市は、福岡県の中西部に位置し、脊振山系の雄大な山々と美しい河川が育む自然豊かなまちです。2018年に単独市制を施行し、那珂川市となりました。

那珂川市には昔から「やまももの木」が自生しており、地元民は幼少期から甘酸っぱい味と香りに慣れ親しんでいました。しかし近年はやまももの木が減少し、その実は市場に出回るとも少ない「幻の果実」となっていました。

そこで那珂川市商工会女性部では市制施行に合わせて、「那珂川市をPRできる商品をつくらう」と、やまももの実を使った商品をつくる「やまももプロジェクト」に取り組みました。

材料を確保するため、青年部や業者、地元市民ボランティアにも協力いただき、1週間で700kg収穫できる体制を構築するなどして商品を開発。市制施行のセレモニーの記念品として採用されました。現在、商品数は約20品、販路は小売卸売含めて約16取引となっています。

このプロジェクトによって、女性部が地域コミュニティの核として認識され、行政、商工会、市民が連携する地域一体の事業として地域振興に貢献しました。今や、やまもも商品は、多く

のマスコミやメディアに取り上げられており、地域を域外へPRするツールとして重要な役割を果たしています。

今後も女性部が力を合わせて、積極的に新しい事業に取り組み、女性部や市の魅力を発信していきたいと考えています。



やまももを活用して、地域企業とのコラボによるさまざまな商品を展開